

あみ 議会だより



29年度当初予算「可決」…	2ページ
8人の議員 町政を問う…	7ページ
特別委員会調査報告…	16ページ
予算特別委員会報告…	18ページ
各常任委員会報告…	19ページ

第152号

平成29年5月12日発行

茨城県阿見町議会

E-mail: gikaijimukyoku-ofc@town.ami.lg.jp
URL: <http://www.town.ami.lg.jp/category/7-0-0-0.html>

阿見町議会

検索

平成29年第1回定例会

平成29年度当初予算可決

総予算額 313億1347万2千円

平成29年第1回定例会が、3月7日から3月28日までの22日間の日程で開かれました。

初日には町長から平成28年度一般会計補正予算及び平成29年度当初予算などを含む議案32件が提出され、付託案件については、後日各常任委員会で慎重審議を行いました。一般質問では、8名の議員が登壇し、活発に町政を質しました。初日に予算特別委員会が設置されました。最終日には、人事案件4件の追加提案があり、平成29年度阿見町一般会計予算を含む36議案、意見書案1件を可決し、請願1件を不採択、決議案1件を否決しました。

国体セーリング競技開催に伴う会場整備費を含む国民体育大会事業
2億6870万3千円を計上

第74回国民体育大会『いきいき茨城ゆめ国体』

スポーツ文化の交流と生涯スポーツの普及・推進を図るとともに、当町の魅力を霞ヶ浦から全国に発信します。

【セーリング競技会期】

平成31年9月29日から10月2日まで
(国体開催期間：平成31年9月28日から10月8日まで)

【会場】

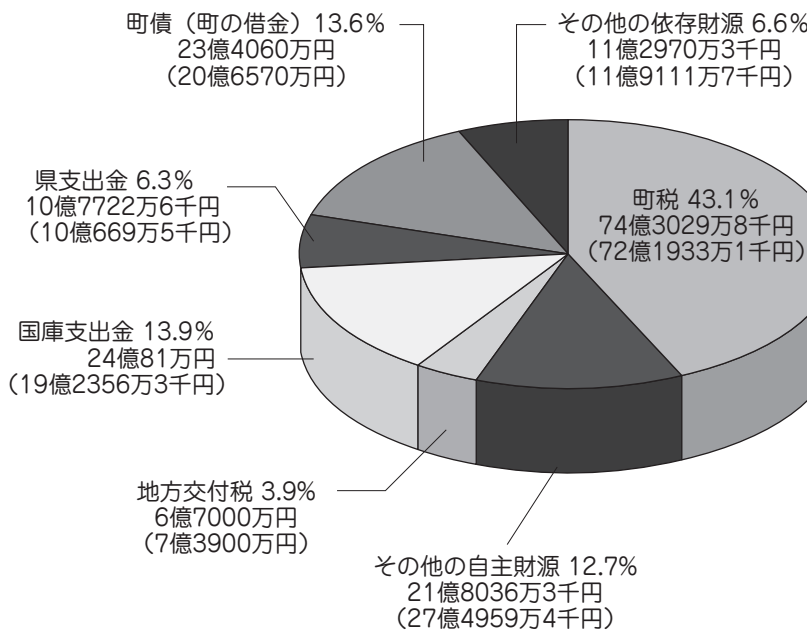
阿見町霞ヶ浦セーリング特設会場（大室地内）

【競技種目】セーリング競技（全10種目）

- 成年男子：470級・レーザー級・国体ウインドサーフィン級
- 成年女子：セーリングスピリッツ級・レーザーラジアル級
- 少年男子：420級・レーザーラジアル級
- 少年女子：420級・レーザーラジアル級

平成29年度一般会計当初予算

一般会計歳入（172億2900万円）



自主財源とは
町民税や法人税など町が直接集めた財源。
依存財源とは
地方交付税などにより国などから配分された財源。

町債とは
町の借金。国や金融機関から借り入れます。
公債費とは
その借金を返済するお金のこと。

地方交付税とは
どの市町村でも同じように行政事務ができるように、国税の酒税、消費税、所得税、法人税の一定割合及び地方



平成 29 年第 1 回定例会の様子（3 月 28 日）

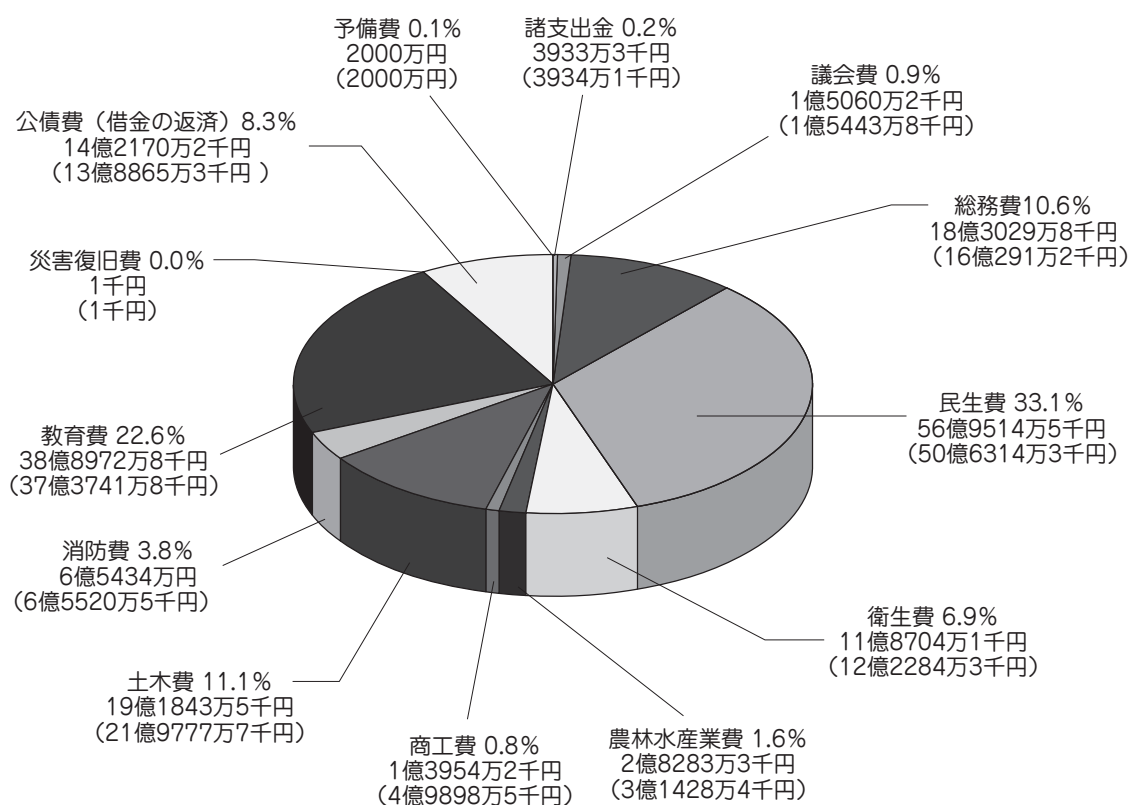
平成 28 年度一般会計及び特別会計補正予算については、全般的に事業費の確定による減額となっており、各会計別の補正内容は、下記ののとおりとなっております。

平成 28 年度補正予算可決 補正予算額 8 億 3 7 3 8 万 4 千円減額

3 月補正予算の結果		
会計名	補正後の予算額	補正額
一般会計	175 億 3666 万 8 千円	▲ 5 億 6897 万 2 千円
特別会計	国民健康保険	▲ 1 億 8752 万 3 千円
	公共下水道事業	▲ 1 億 750 万 1 千円
	土地区画整理事業	0 円
	農業集落排水事業	▲ 2297 万 2 千円
	介護保険	4406 万 2 千円
	後期高齢者医療	1121 万 2 千円
企業	水道事業	▲ 569 万円
総額	318 億 7091 万 6 千円	▲ 8 億 3738 万 4 千円

平成 29 年度一般会計当初予算

一般会計歳出（172 億 2900 万円）



※（ ）内は、前年度予算額となります。
パーセント（%）は、小数点第 2 位を四捨五入しております。

3月定例会 質疑と討論

阿見町文化芸術振興条例の制定

問 パブリックコメントの応募がなかったということですが、パブリックコメントを行った理由は。

答 この条例は町民との協働による事業推進であり、町民生活に影響を与える条例です。さらには総合計画等の町の基本的政策を定めて、最終的には町民憲章に沿ったものにするためです。

平成28年度阿見町一般会計補正予算の内容は

問 総務費の時間外勤務手当が増えています。内容とこれに対する人数がどのくらい増えているのか。

答 主な理由は、住民監査請求が出て職員が対応したため増額しました。住民監査請求の担当職員は2名です。

定住促進事業費の減額の内容は

問 定住促進少子化対策事業費の減額ということですが、この奨励金は何世帯だったのか。

答 三世帯同居・近居促進奨励金の28年度の実績は、申請件数18件、18世帯です。その結果、転入した総数は60名です。

平成29年度阿見町一般会計予算
平成29年度阿見町国民健康保険特別会計予算
平成29年度阿見町介護保険特別会計予算
平成29年度阿見町後期高齢者医療特別会計予算
平成29年度阿見町水道事業会計予算

反対討論

永井義一

▼まず一般会計予算は、全体的に委託料が高めになっていきます。単なる人件費の問題だけではなく、もつと詰められる所を探すべきで、給食費の問題や入学援助金の問題なども子育て環境・教育環境の向上などを行うべきです。反対いたします。

次に国民健康保険特別会計予算は、国保税が高いという声があり、町として一般会計繰入金を増やし、町民の負担軽減をすることが必要、法定外繰入れも行うべきですので、反対いたします。

次に介護保険特別会計予算は、要支援1と2の人が訪問・通所介護から外され、地域支援事業に移行するなど、介護サービスに地域格差が生じ、要支援者の重症化等も進むことが予想されるので、反対いたします。

次に後期高齢者医療特別会計予算は、75歳で医療に線引きし、高齢者を別枠の医療制度にすることに反対いたします。

次に水道事業会計は、平成30年4月から料金体系の見直しはありますが、この間続いている黒字を町民に還元するという視点が抜けているかと思えます。また、水道事務所

の追尾型太陽光発電システムで、工事費用が2千500万円かかりましたが、20年間で予算ベース3千600万円の売電収入が見込まれ、1100万円の利益となります。しかし、昨年度の落下事故でパネルが固定式にされたことで、計算上224万円の損失となってしまう。そのような水道事業会計予算には、強く反対いたします。

3月定例会で可決された意見書
地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書を可決し、国会及び政府に提出しました。

川畑秀慈 議員

自治功労表彰

議員活動を通して、地方自治振興を寄与された功績に対し、次の議員が茨城県町村議会議長会より表彰されました。



在職20年以上 吉田憲市議員(左から2番目)
在職12年以上 柴原成一議員(左)、海野隆議員(右から2番目)、浅野栄子元議員(右)

平成29年 第1回臨時議会

平成29年第1回臨時議会が、2月9日に開かれました。町長から専決処分についての議案3件、工事請負契約についての議案2件、町道路線の認定についての議案1件が提出され、全議案可決しました。また、議員提出議案1件についても可決しました。



平成29年第1回臨時議会（2月9日）

平成29年第1回臨時議会議案・審議結果一覧（平成29年2月9日）

議案番号	件名	議決結果	賛否数		議員名																	
			賛成	反対	紙井和美	石引大介	井田真一	高野好央	樋口達哉	栗原宣行	野口雅弘	永井義一	海野隆	平岡博	久保谷充	川畑秀慈	難波千香子	柴原成一	久保谷実	吉田憲市	倉持松雄	佐藤幸明
1号	専決処分の承認を求めることについて（損害賠償の額を定めることについて）	原案承認	15	0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-
2号	専決処分の承認を求めることについて（損害賠償の額を定めることについて）	原案承認	15	0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-
3号	専決処分の承認を求めることについて（損害賠償の額を定めることについて）	原案承認	15	0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-
4号	社整中部道第5-1号中央地内道路改築工事請負契約について	原案可決	15	0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-
5号	阿見中学校校舎設備改修工事請負契約について	原案可決	15	0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-
6号	町道路線の認定について	原案可決	15	0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-
議員提出議案1号	地方自治法第207条の規定による実費弁償に関する条例の一部改正について	原案可決	15	0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-

※議長（紙井和美議員）は、可否同数のとき以外は表決に加わりません。

※「○」は賛成、「×」は反対、「-」は欠席を表します。

平成29年第1回定例会議案・審議結果一覧（平成29年3月7日～3月28日）No.1

議案番号	件名	議決結果	賛否数		議員名																	
			賛成	反対	紙井和美	石引大介	井田真一	高野好央	樋口達哉	栗原宣行	野口雅弘	永井義一	海野隆	平岡博	久保谷充	川畑秀慈	難波千香子	柴原成一	久保谷実	吉田憲市	倉持松雄	佐藤幸明
7号	阿見町文化芸術振興条例の制定について	原案可決	17	0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8号	阿見町職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決	16	1		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9号	阿見町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正について	原案可決	17	0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10号	阿見町の一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正について	原案可決	17	0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11号	阿見町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	原案可決	17	0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12号	阿見町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	原案可決	17	0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13号	阿見町個人情報保護条例等の一部改正について	原案可決	16	1		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14号	阿見町行政財産使用料徴収条例の一部改正について	原案可決	16	1		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15号	阿見町税条例等の一部改正について	原案可決	17	0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16号	阿見町介護保険条例の一部改正について	原案可決	17	0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17号	阿見町下水道事業審議会条例の一部改正について	原案可決	17	0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18号	阿見町附属機関の設置に関する条例の一部改正について	原案可決	17	0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長（紙井和美議員）は、可否同数のとき以外は表決に加わりません。

※「○」は賛成、「×」は反対、「-」は欠席を表します。

平成29年第1回定例会議案・審議結果一覧(平成29年3月7日～3月28日) No.2

議案番号	件名	議決結果	賛否数		議員名																	
			賛成	反対	紙井和美	石引大介	井田真一	高野好央	樋口達哉	栗原宜行	野口雅弘	永井義一	海野隆	平岡博	久保谷充	川畑秀慈	難波千香子	柴原成一	久保谷実	吉田憲市	倉持松雄	佐藤幸明
19号	阿見町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	原案可決	17	0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20号	阿見町生きがい活動支援通所事業実施条例の廃止について	原案可決	17	0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21号	平成28年度阿見町一般会計補正予算	原案承認	17	0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22号	平成28年度阿見町国民健康保険特別会計補正予算	原案承認	17	0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23号	平成28年度阿見町公共下水道事業特別会計補正予算	原案可決	17	0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24号	平成28年度阿見町農業集落排水事業特別会計補正予算	原案可決	17	0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25号	平成28年度阿見町介護保険特別会計補正予算	原案可決	17	0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26号	平成28年度阿見町後期高齢者医療特別会計補正予算	原案可決	17	0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27号	平成28年度阿見町水道事業会計補正予算	原案可決	17	0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
28号	平成29年度阿見町一般会計予算	原案可決	16	1		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29号	平成29年度阿見町国民健康保険特別会計予算	原案可決	16	1		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30号	平成29年度阿見町公共下水道事業特別会計予算	原案可決	17	0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31号	平成29年度阿見町土地区画整理事業特別会計予算	原案可決	17	0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32号	平成29年度阿見町農業集落排水事業特別会計予算	原案可決	17	0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
33号	平成29年度阿見町介護保険特別会計予算	原案可決	16	1		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
34号	平成29年度阿見町後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	16	1		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
35号	平成29年度阿見町水道事業会計予算	原案可決	16	1		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
36号	土地の取得について	原案可決	17	0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
37号	町道路線の廃止について	原案可決	17	0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
38号	町道路線の認定について	原案可決	17	0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
39号	阿見町政治倫理審査会委員の委嘱につき同意を求めることについて	原案可決	17	0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
40号	阿見町政治倫理審査会委員の委嘱につき同意を求めることについて	原案可決	17	0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
41号	阿見町政治倫理審査会委員の委嘱につき同意を求めることについて	原案可決	17	0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
42号	阿見町政治倫理審査会委員の委嘱につき同意を求めることについて	原案可決	17	0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願1号	農業者戸別所得補償制度の復活をもとめる請願	不採択	7	10		×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	○
意見書案1号	農業者戸別所得補償制度の復活を求める意見書(案)	撤回																				
意見書案2号	地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書(案)	原案可決	11	5		○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	-	×	○	○
決議案第1号	水道事務所に設置された追尾型太陽光発電システムの調査に関する特別委員会へ100条調査権付与に関する決議案	原案否決	6	10		×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	-	○	×	○
	水道事務所に設置された追尾型太陽光発電システムの調査に関する報告書	原案承認	9	7		○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	-	×	○	×

※議長(紙井和美議員)は、可否同数のとき以外は表決に加わりません。
 ※「○」は賛成、「×」は反対、「-」は欠席を表します。

8 人の議員 町政を問う



1. 久保谷 充 議員 (P 8)

電子母子手帳の取り組みについて
他 2 件



5. 栗原 宜行 議員 (P 12)

阿見町の森林及び平地林の保
全・整備は進んでいるか
他 1 件



2. 海野 隆 議員 (P 9)

水道事務所に設置した追尾式太
陽光発電システムの経緯につい
て内部検証を実施する意思はあ
るか
他 3 件



6. 川畑 秀慈 議員 (P 13)

障がい者施策の取り組みについて
他 1 件



3. 永井 義一 議員 (P 10)

阿見町の子育て支援施策について
他 1 件



7. 井田 真一 議員 (P 14)

小学校再編後の学校利活用に
ついて
他 1 件



4. 難波千香子 議員 (P 11)

5 歳児健診の導入や児童発達支
援・就学前教育の充実は
他 3 件



8. 樋口 達哉 議員 (P 15)

阿見町における無人航空機 (ド
ローン) への対応 (準備) は万
全か

※一般質問の内容は、質問者の責任において作成されたものを掲載しております。

電子母子手帳の取り組みについて

天田町長／先進自治体の取り組み状況や、国、県、電子母子手帳標準化委員会の動向を注視し、取り組みについて、検討したい

久保谷 電子母子手帳の取り組みについて。

町長 電子母子手帳の導入は、子育て支援策として一定のメリットがあると考えておりますので、先進自治体の取り組み状況や、国、県、電子母子手帳標準化委員会の動向を注視し、取り組みについて、検討してまいります。

久保谷 母子健康手帳とは別に、予防接種管理、育児記録について、無料のアプリケーションの紹介、

お知らせ機能は、あみメールで情報発信してありますが電子母子手帳との違いについて。

保健福祉部長

手帳紛失によるデータ消失を防げるとともに、子供の身長・体重のグラフ化など、子供の成長記録などを残せるメリットがある。

久保谷 導入経費が年間65万円程度であればデータを紛失しても残るメリット等があるので早急に導入してもらいたい。

(要望)



久保谷 充 議員

ランドセルの無償配布について

菅谷教育長／ランドセルの無償配布については、財政状況から難しい

久保谷 ランドセルの無償配布について。

教育長 子供の貧困に關しては認識しておりますが、ランドセル無償配布については、財政状況から難しい。

久保谷 無償配布試算について。

教育次長 近隣では土浦市、石



出典：土浦市教育委員会

岡市が無償配布をしていて、土浦市の単価では8千748円で約350万円、石岡市の単価では1万5千660円で約620万円です。

職員駐車場使用料500円の根拠と町の収入について

総務部長／町行政財産使用料条例に基づき土地の評価額と使用面積、利用期間で算出し、収入は年間300万円です

久保谷 職員駐車場使用料500円の根拠と町の収入はいくらか。また、他市町村の現状について。

総務部長 町行政財産徴収使用

条例に基づき土地の評価額と使用面積、利用期間で算出しています。町の収入は出先を含め職員は300名、小中学校の先生が200名で、収入は年間300万円です。また、近隣の状況は公有地を使用しているところでは、稲敷市は徴収なし、つくばみらい市500円、

龍ヶ崎市1千540円、民地を借り上げて徴収の場合は、牛久市1千円～3千250円、つくば市410円～2千050円、土浦市1千800円、美浦村500円(一部民地)です。

久保谷 役場庁舎の駐車場の駐車スペースが狭いので植栽は外周だけにして駐車幅を広く取ってもらいたい。

(要望)

●その他の質問事項
○マイナンバーカードの活用計画について

水道事務所に設置した追尾型太陽光発電システムの経緯について内部検証を実施する意思はあるか

天田町長／改めて検証委員会を設置する考えはない

海野

最も重要なことは、問題のあったと思われる事務事業について行政自らが検証を行うことだ。

事務執行のどこに、どのような問題があったのか、どのような改善が必要なのか、説明をする必要があると考えがその意思はあるか。

町長

これまで議会での一般質問や決算特別委員会、更には調査特別委員会において説明してきた。改めて検証委員会を設置する考えはない。

産業建設部長

議会に説明をしなかった点、下請け業者についてのチェックの甘さがあったという点については反省している。これまでの経過も含めて何があったのか3月いっぱいまでには報告するように指示している。

総務部長

一連の経過の中で、契約約款や建設業法についての認識、竣工段階の指導監督と発注者が果たす役割、竣工検査時の書類のチェック、



海野 隆 議員

工事成績評価の方法などに課題があるということとは認識している。今後は、チェックリス

トの作成や説明会、手引きの作成等について考えていく。

今後見込まれる事務事業の推移から考えられる財政の状況と今後の推移について伺いたい

天田町長／新規事業の抑制と既存事業の見直しによる歳出削減と、未来への投資とのバランスのとれた持続可能な財政運営を推進していく

海野

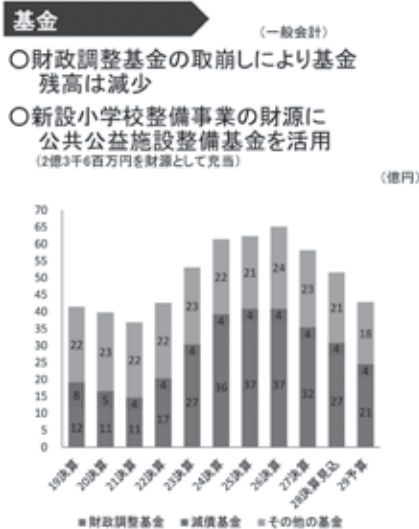
阿見町の財政は、三大事業など大型事業が連続し、特に財政調整基金の大幅な取り崩しによって

予算をまかなうなど、今後の推移について懸念される状況だ。インフラの修理等、今後見込まれる事務事業の推

移から考えられる財政の状況について伺いたい。

町長

健全化判断比率からみた町の財政状況は、健全性を保っている。一方、財政構造の弾力性を示す経常収支比率については91・8%となり、県内平均の87・6%を上回っており、既存事業の抜本的見直しなど、比率改善に向けた取り組みが必要だ。今年度の3か年実施計画に位置付けた事業を全て実施した場合は、約11億円の財源不足が生じ、財政調整基金の取り崩しで対応した場合、平成31年度末残高は約15億円に減少すると試算している。新規事業の抑制と既存事業の見直しによる歳出削減と、未来への投資とのバランスのとれた持続可能な財政運営を推進していく。



- その他の質問事項
- 行政改革の目標達成度と課題について
- オリジナルナンバープレート、オリジナル婚姻届について

阿見町の子育て支援施策について

菅谷教育長／国の交付金等の情報や社会情勢等を注視しながら検討してまいります



永井 義一 議員

永井 学校給食の無料化については

現在は第3子以降ですが、それを第2子以降に進める施策です。

「子どもの貧困」が今問題になっています。1日の中でまともな食事は学校の給食だけ、という子供も少なからずいます。生活費を切り詰めて、給食費を捻出する家庭もあります。給食費が無料になればそれだけ保護者の負担も軽減されます。

次に、子どもの医療費の拡充の問題です。

阿見町では平成25年度より中学生までの医療費の無料化が実施されましたが、それ以降

は進んでいません。

安心して子育てを行う環境をつくるためにも、18歳までの医療費の無料化を求めます。

最後に、入学準備金の支給時期についてです。この問題は昨年も取り上げましたが、7月の支給では遅すぎます。今回守谷市が3月支給に改正されます。阿見町としても支給時期を早める努力を行うよう強く要望します。

教育長

1点目の学校給食の第2子以降の無料化につきましては、国の交付金等の情報や社会情勢等を注視しながら検討し

てまいります。

3点目の就学援助制度での入学準備金の支給時期については、保護者の負担の軽減を図るために、県内市町村の状況、町財政との協議により検討していきたいと考えます。

町長

2点目の子どもの医療費の拡充ですが、県の補助金は中学生の入院までと限られます。対象拡大の経費は、町の単独事業となるため、高校生の医療費の無料化は考えておりません。

国民健康保険税の引下げについて

天田町長／国民健康保険税の引き下げは考えておりません

永井

厚生労働省は27年2月に『国民健康保険の見直しについて』という文書を出しました。そこには「市町村国保が抱える構造的な課題として、保険加入者の年齢構成が高く、所得水準も低いため所得に対する保険負担が大きくなっている」と書かれています。国ではこの文書をもとに、保険者



のかを伺います。

また、平成29年度も国は同様の財政支援を行います。そのことに対する町の対応も伺います。

町長

町における被保険者への財政支援は、前年度に比べ約5300万円の増加となっています。これに伴い軽減制度の充実が行われ、5割軽減・2割軽減の算定基準が見直されました。それにより軽減対象世帯も増加しました。

平成29年度においても、同様の見直しが予定されています。しかし、町が独自に国民健康保険税の軽減を実施する場合、毎年経常的な財源が必要となります。

阿見町ではこの拠出金などのように使われ、被保険者に対してどのような軽減がなされたかを注視しながら検討し

5歳児健診の導入や児童発達支援・就学前教育の充実は

菅谷教育長／地域で幼児教育・家庭教育を支える事業として積極的に公民館等を利用いただく考えです



コミュニケーション能力を育てる運動の様子

難波

就学前のスタートラインにつけないなど、集団生活が成り立たない状態が続く小1プロブレムが問題になっている。解消策や幼保小連携の包括的な窓口も必要です。そこで、就学前の家庭教育を支援する取り組みはどうか。

次に、阿見町には療育センターがありま

せん。地域で療育支援を支えるコミュニケーション能力を育てる事業の推進や、個別相談の拠点が必須と考えるがどうか。

教育長

家庭教育については、1

歳6か月児健診時と3歳児保護者にリーフレットを配布して重要性を伝えてきた。今後、福祉部局と連携し支援を拡充することで効果を出していきたい。コミュニケーション能力を育てる事業等、



難波 千香子 議員

地域で幼児教育・家庭教育を支える事業として積極的に公民館等を利用いただく考えです。

難波

集団生活を始める子どもが多い5歳児は、発達障害に気づきやすく、県は早期発見として5歳児健診を強化しており、早期に導入すべきと考えるが、所見は。

町長

国・県の動向を注視し検討します。

難波

児童健診時の家庭教育支援事業をどう拡充するのか。

生涯学習課長

福祉部局と連携したワンストップサービス（1カ所の窓口で提供）を考えています。

不法投棄・資源ごみ持ち去りなどへの対策は

天田町長／検証等を進め取り組む

難波

依然として、廃棄物や建設残土の不法投棄、集積所

への不法投棄、資源ごみの持ち去りなど深刻な状況にある中、即効

性のある規制を含めて阿見町廃棄物処理条例に罰則規定を盛り込むことや、集積所等への看板、監視カメラ、GPS端末はきわめて有効と考えるがどう取り組むのか。

町長

県内初めての罰則付き条例改正準備を土浦市が進めている。牛久警察署等関係機関の意見等も参



集積所の移動式監視カメラ（取手市）

高齢者及び障がい者等への災害時の対策について

天田町長／今年度末目途にまとめる

難波

要配慮者全体の避難行動支援策の、町地域防災計画への位置づけはどうか。各地域の実情に合わせた個別計画の作成も必要と考えるがどうか。

町長

全面的な見直しを図り、今年度末を目途にまとめる。今後も地区防災計画の作成を後押ししていきたい。

- その他の質問事項
- がん教育実施について

阿見町の森林及び平地林の保全・整備は進んでいるか

天田町長／「身近なみどり整備推進事業」があり、森林を再生しています

栗原 阿見町の森林及び平地林の現状を伺います。

町長 阿見町の森林面積は、2015

5農林業センサスによると、1017ヘクタールで、町全域に占める林野率は約15%となっています。

栗原 保全・整備の度はどのようなものがありますか。

町長 茨城県の補助事業に「身近なみどり整備推進事

業」があります。町では、平成5年からの23年間で約140・51ヘクタールの森林を再生しています。

栗原 森林や平地林にある埋蔵文化財や遺構はどの位ありますか。

教育長 埋蔵文化財包蔵地の数は山林や畑を含めて216ヶ所となっていますが、地中に埋蔵された状態にあることから今後新たに発見される可能性もあります。また、遺構内での土



栗原 宜行 議員

木工事は、文化財保護法に基づき茨城県教育委員会への届出が必要となります。町では試掘や遺構分布の記録を

行い、保護するために適切な指導を行います。



補助金制度により整備された塙城址（上：整備前、下：整備後）

子どもの貧困について

菅谷教育長／子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されないよう、環境を整備し教育の機会均等を図って参ります

栗原 子どもの貧困とはどのようなことですか。

教育長 保護者の離

婚、病気、障害、失業、非正規雇用等といった要因により、貧困になった17歳以下の子どもの存在や生活状況のことです。

子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されないよう、環境を整備し教育の機会均等を図って参ります。

栗原 阿見町における子どもの貧困の現状はどのようなものがありますか。

教育長 都道府県別や市町村別のデータはありませんが、厚生労働省の「国民生活基盤調査」によると、17歳以下の子どもの貧困率は16・3%となっています。

栗原 町の支援策はどのようなものがありますか。

教育長 経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して、就学に必要な費用を援助する就学援助費を交付しています。

障がい者施策の取り組みについて

天田町長／障害者差別解消法の趣旨を踏まえ障害者一人ひとりの権利を尊重した取り組みへの支援を図ります

川畑

町において障害に該当する人は何人いますか。また、労働賃金は幾らですか。

町長

平成28年3月末現在で、身体障害者手帳1千404人、療育手帳293人、精神保健福祉手帳278人です。町内の就労継続支援B型が4事業所あり、障害の特性に違いがある中、27年度の平均賃金は月額1万683円です。

川畑

優先調達法の対応と障害者の収入を増やす施策及び29年度の重点的取り組み

町内において障

害に該当する人

町長

平成27年度64万9千928円です。また、収入を増やすために町内の事業所においては工賃向上計画を作成し、様々な努力をしている。29年度の重点的な取り組みは、障害者差別解消法の趣旨を踏まえ、障害者一人ひとりの権利を尊重した取り組みへの支援を図ります。



川畑 秀慈 議員

川畑

町内の施設の中で工賃の一番高い施設の工賃と低いところの金額は月幾らになるのですか。

保健福祉部長

平成27年の実績で、高い施設では月1万5千719円、時給233円です。低い施設では月4千479円で時給97円です。

川畑

昨年、石川県七尾市の施設を視察しましたが様々な努力をしています。そして、障害者を施設の中に囲い込まないでなるべく外に出て活動

しています。

地域でのボランティア活動や行政機関に出前喫茶なども行っている。阿見町においても

議会・各委員会・各課の審議会や様々な機会

に活用することも可能ではないか。支援員の

人たちと一緒に行えば

かなりできると思う。

また、町内には大学や

病院、工業団地内には

多くの企業もあり、その

ようなところと連携

する事で、環境が大きく

変わっていくと思う。障害者の問題は、人権

に関する意識の変革が必要である。継続的な

川畑

フランスの学校給食ではすでに、味覚の授業を実施している。一流のシェ

学校給食の取り組みについて

菅谷教育長／地域の産物や食文化を感じられる給食を目指したい

川畑

町において食育で取り組んできたことは何か。また、今後どのような学校給食を目指していくのか伺います。

教育長

平成26年度からスーパースクール事業を3年間行い、児童生徒と保護者が食に関する正しい知識を身につけ、望ましい食生活の実践力を養うことを図ってまいりました。

今後は、地域の産物や食文化を感じられる給食を目指したい。

川畑

フランスの学校給食ではすでに、味覚の授業を実施している。一流のシェ

フのつくる料理で本物の味を覚えることを取り入れている。町でも是非、美味しい学校給食を提供してほしい。



小学校再編後の学校利活用について

天田町長／吉原小と実穀小については、新年度より検討委員会を組織して利活用の検討に着手します

井田 現状、実穀

小・吉原小・君原小の3校は児童数が100人を下回り1学年1学級ですが、1学年2学級以上を希望する声が多くあります。

一方で現状のままを希望する意見も3割強あり、学校統合を簡単に良い悪いと決めることは困難です。そのような中でもさまざまな立場の方々の意見を集約して学校再編計画を策定し、保護者や地域の方もそれに沿って統合に理解するよう努力されている姿勢に感謝しております。

①統合の進捗。

②統合される学校児童の通学方法。

③統合後の学校利活用、についてお伺いします。

教育長

①吉原小と実穀小は、2018年4月の統合に向けて協議を進めています。君原小と阿見第二小については、統合準備委員会を組織するに至っており、引き続き話し合いの場を持つていきます。

学校教育課長

②全額町負担でスクールバスを運行する予定です。



井田 真一 議員

町長

③町はこれまで一貫して地域の意見を最優先にし、地域の方々に地域のためになる跡地利活用を考えて頂き、それを町が支えるという考え方をとってきました。そのため、町として検討している利活用案はまだありません。吉原小と実穀小については、新年度より検討委員会を組織して利活用の検討に着手します。

井田

町民の声や周辺の取り組みを参考にした利活用案の提案ですが、入浴施設を兼ね備えた年配者の学校と、宿泊施設を兼ね備えた道の駅としての活用を考えてみてはいかがでしょうか。

町長

アイデアは良いが、町の財源を考えながら費用対効果を考えて検討していく必要があります。



霞ヶ浦二橋建設計画について

天田町長／茨城県の100年の基になる計画で積極的に推進していきたい

井田

茨城県総合計画に2050年

頃の茨城の姿として、霞ヶ浦二橋が描かれています。圏央道が2月26日茨城県内全線開通し、さらに二橋ができれば茨城空港へのアクセスも飛躍的に良くなり、企業誘致、交流人口の増加など、様々な利点があります。これは阿見町にとってまたとないチャンスになると感じておりますが町

町長

これは茨城県の100年の基になる計画です。県にも2020年東京オリンピックの後の国策になるような大事な視点になると述べました。二橋ができることで色々な構想が巡ってきます。積極的に推進していきたいと考えています。



霞ヶ浦二橋の看板



【啓翁桜】(町内 山根峯治氏撮影)
※ブログ「阿見周辺の四季の花」から
<http://blog.goo.ne.jp/minemi3280-ami>

阿見町における「無人航空機(ドローン)」への対応(準備)は万全か

天田町長／空の産業革命を推進することと安全を確保することの両立が課題であると認識しています

樋口 町のドローンに対する認識は。

町長 二つの側面があると考えています。

ドローンは、新たな可能性を有する技術で、農業や空撮、測量、災害対応等の分野では既



樋口 達哉 議員

に活用され始めました。また、新たな産業として、国民の関心が高まり「空の産業革命」とも言われています。その一方で、落下事故等が発生し、信頼性が万全とは言い難く、対策が必要です。空の産業革命を推進することと安全を確保することの両立が課題であると認識しています。

樋口 改正航空法で定められた町内における飛行禁止空域の認識は。

町長 地表面又は水面から150m以上は全町域が飛行禁

止。それ以下であつても、人口集中地区と霞ヶ浦飛行場に関係する空域では、飛行にあたり国土交通大臣の許可を必要とします。

また、目視外の飛行人又は物件との間隔が30m以内の飛行、多数の者の集合する催しの上空の飛行、夜間の飛行等を行う場合には国土交通大臣の承認が必要であると認識しています。

樋口 ドローンに関する確認や相談があった場合の対応について。

町長 航空法を所管する国土交通省に設置された「無人航空機ヘルプデスク」を紹介いたします。

樋口 町有地、特に公園等での飛行に関する問い合わせへの対応は。

町長公室長 基本的には、飛行を希望する場所を所管する部署が対応します。この際、「県営都市公園における小型無人航空機(ドローン等)の取扱いについて」を参考にします。許可にあたっては、ご相談

を受けて個別に判断して参ります。

樋口 今後需要が高まるドローンへの対応は。

町長 ドローンは災害等発生時、人が行けない場所等から映像情報を収集するなど、役に立つ資機材であると考えています。今後発生が予想される首都直下地震等への災害対策として、ドローンの保有者等との協働について調査研究を進め、災害時等の情報収集の充実に努めて参ります。



空撮用ドローン

特別委員会 調査結果報告

●特別委員会設置にいたる経緯

阿見町は再生可能エネルギー導入基本計画を策定するにあたり、風力、小水力、太陽光の3方式で検討をしていたが、太陽光発電が費用対効果や配置環境対策面で優れているため、太陽光利用による発電システムに決定し、平成26年11月、水道事務所に追尾型太陽光発電

水道事務所に設置された追尾型太陽光発電システムの調査に関する特別委員会

システムを設置した。しかし、昨年8月、各地に被害を残した台風9号により水道事務所を設置された追尾型太陽光発電システムの1基に、太陽光発電パネルの落下損傷が発生した。また、台風9号に続いて台風10号も発生し、東日本に接近していたため、8月31日、安全のため水道事務所に設置された追尾型太陽光発電システム8基全てを撤去した。

阿見町議会では、この水道事務所に設置された追尾型太陽光発電システムについて平成26年6月10日、第2回阿見町議会定例会（日程第3）諸般の説明において、「太陽光発電設備設置工事」の予算繰越が執行部より報告

されて以降、平成28年第4回阿見町議会定例会までの2年半で合計9回、継続して質疑を行って来たが、事実関係を再度整理し調査検証するため、全議員で構成する調査特別委員会を設置した。

●調査の目的

阿見町水道事務所に設置された追尾型太陽光発電システムについて、設置から今日に至るまでの経緯を調査し、議会として町民への説明責任を果たすため、水道事務所に設置された追尾型太陽光発電システムの調査に関する特別委員会を議員全員で設置する。

●調査項目

- ① 追尾型太陽光発電システムがどうして導入されたのか。
- ② どういう経過で工事をしたのか。
- ③ どういう経過で発電できなくなったのか。
- ④ どうして撤去したのか。

●調査日及び内容

○第1回調査委員会
平成28年12月20日（火）
10時00分～12時17分

議題 水道事務所に設置された追尾型太陽光発電システムに関する資料の確認について

【資料5部】
ア 導入の過程が分かる資料
イ 業者選定が分かる資料
ウ 工事内容が分かる資料

エ 検査、支払いの分かる資料
オ 撤去、復旧の分かる資料

○第2回調査委員会
平成29年1月19日（木）
10時00分～12時28分

議題 水道事務所に設置された追尾型太陽光発電システムに関する資料の精査について

① 資料の説明と質疑
② 参考人招致の要望があり採決。賛成多数により可決。

【招致する参考人】
（株）ナカジマ代表取締役 浅野 和郎氏
（有）ラッサム取締役 鴻巣 勝男氏
管財課及び上下水道課の担当職員

○第3回調査委員会
平成29年2月9日（木）
12時15分～1時00分

議題 参考人に意見を求める事項について

○第4回調査委員会
平成29年2月24日（金）
10時00分～14時13分

議題 参考人意見聴取

【出席者】
（株）ナカジマ代表取締役 浅野 和郎氏
管財課及び上下水道課の担当職員
【欠席者】
（有）ラッサム取締役 鴻巣 勝男氏

※欠席された鴻巣勝男氏には再度出席を要請した。

○第5回調査委員会
平成29年3月24日(金)
10時25分～12時00分

議題 参考人意見聴取

及び参考人提出書面等
について

①参考人意見聴取

【欠席者】

(有)ラッサム取締役

鴻巣 勝男氏

②書面提出

【提出者】

株ナカジマ代表取締役

浅野 和郎氏

③資料提出

執行部より、「水道
事務所に設置された追
尾型太陽光発電システ
ム導入から撤去、再建
までの時系列表」が提
出された。

④本委員会の閉会につ

いて

調査を終了し本委員
会を閉会すること及び
委員会報告を委員長に
一任することについて

採決があり、賛成多数
で可決。

●調査結果

調査項目①

再生可能エネルギー
の導入選定にあたって
は、風力、小水力、太
陽光の発電システムの
中から最適な方式を検
討した。まず、風力発
電はほとんどの風車が
定格風速10メートル以
上であり、5・5メー
トル以下では設備利用
率が20%と効率が悪い。
設置する水道事務所付
近は3メートルから4
メートルの風しか常時
吹いていないため風力
発電を検討対象から外
した。

小水力発電について
は、県から送られてく
る水の圧力で発電をす
るものと、町で送って
いる水で発電をするも
のとの差があり、阿見町の
地形がほぼ平地で高低

差がないため発電量が
ともに少なく、再生可
能エネルギーとして小
水力発電は不向きであ
る。

太陽光発電システム
には、固定式と追尾型
があり費用対効果や配
置環境対策面で固定式
より優れている追尾型
太陽光発電システムを
採用した。

固定式との発電量比
較では、1軸式は1・
5倍、2軸式は1・8
倍の発電量の差がある
が、設置費用は固定式
とほとんど変わらない
内容であった。

調査項目②

業者選定方法は、随
意契約ではなく一般競
争入札で実施された。

①竜ヶ崎工事事務所内
に本社があること。

②電気工事で700点
以上の経営審査の点
数があること。

③元請年間平均完成工
事高が、2000万
円以上あること。

以上3点を条件と

し、応募要件を満たし
ている15者の内4者か
ら参加希望があり、1
者が辞退3者が応札し
た。入札の中で最低制
限価格以上予定価格以
下で一番安かった株式
会社ナカジマが落札し
た。落札率は85・8%

であった。

調査項目③

主な原因の1つに、
先進的技術による発電
量の低下があった。2
軸式は可動域が上下左
右と広く、追尾が1方
向の1軸式より太陽を
追尾出来る。このため、
発電量は多いが動作が
複雑になる事が分かっ
た。また、2軸式を

開発した株式会社緑洲
の会社清算により、技
術面でのサポートが受

けられなくなったため、
安定した発電量の確保
が困難になった。

調査項目④

各地に大きな被害を
残した台風9号よって
太陽光発電パネルが落
下破損し、台風10号の
接近もあり安全のため
全基撤去することと
なった。

●結論

調査項目①について
は、追尾型太陽光発電
システムの設置は問題
がなかったと判断する。

調査項目②について
は、入札方法について
は正しく実施されたと
判断する。

調査項目③について
は、先進的最新の技術
により不具合が生じ、
解消できなかったもの
と判断する。

は安全上妥当であった
と判断する。

●特別委員会調査報告 書の提出

水道事務所に設置さ
れた追尾型太陽光発電
システムの調査に関す
る特別委員会は、所定
の調査を経て、ここに
終了することとなった
ので、阿見町議会議
規則第77条の規定によ
り、平成29年3月28日、
議長あて報告書を提出
する。

●報告案採決

平成29年第1回阿見
町議定会定例会最終日に
おいて、委員長より調
査特別委員会の調査結
果が報告され、討論が
行われた。

討論後、委員会報告
について承認の採決が
あり、賛成多数で承認
された。(※P6参照)

予算特別委員会

当委員会に付託された議案の主な質疑

平成29年度一般会計予算

(総務常任委員会所管事項)

問 市民活動支援助成金は、地域の問題、また町の将来の問題、今ある問題を協働的に住民が主体となつてやっていく事業ということでよろしいのか。

答 この事業は、町民ベースで、市民活動をより活性化させていただきたいということでの支援事業です。助成金の限度額等々の根拠は、県南地域の中で先進的な自治体の参考事例等も参考にさせていただいた。この要綱も必要に応じて見直しをしていく予定です。

問 自主防災育成

ワークシヨップ業務委託料ということで、平成29年度の予定としては、どのぐらいの地区を予定しているのか。

答 事業内容は、地区の防災計画をそれぞれの地区で作っていたら、4地区終わりましたので、29年度は残りの6地区、具体的には、霞台・大室・曙東・竹来・追原・南島津を対象にワークシヨップ事業をやりたいと思っております。

平成29年度一般会計予算

(民生教育常任委員会所管事項)

問 障害者地域生活支援事業の日中一時支援事業委託料の金額が増えている背景は。

答 日中一時支援事業委託料については、障がい者それから障がい児が家族の都合によって、町と契約をしている事業所に日中お預かりする制度です。放課後等デイサービス等と併用してサービスを利用されている方もおり、障がいのある子どもの利用が増えていることを勘案し、増額しました。

問 地域組織活動育成事業の事業内容をお願いします。

答 こちらは各児童館を拠点として活動している母親クラブとい

う団体で、学校区児童館に1団体、二区児童館に1団体の母親クラブの育成事業になります。母親クラブは、自主的な研修を通じ、会員相互の親睦を深め、教養を高めることにより、児童の健全育成と福祉の増進を図っている団体です。

問 遠距離通学者補助金について内容を教えてください。

答 この補助金は、片道6キロ以上の通学距離の中学生が自転車通学している場合の補助金となります。月1千円補助しております。

平成29年度一般会計予算

(産業建設常任委員会所管事項)

問 農業委員会事務費の農地利用状況調査図作成業務委託料の内容をお願いします。

答 今まで使っていましたが、5年間使用してかなり破損してき

ましたので、新たに持ち歩き用の地図を作成する委託料です。

問 産学官連携事業について、新商品開発と第6次産業について、どのくらいまで進んでいるのか。

答 29年度から茨城大学農学部と共同研究ということで、委託費を含む85万5千円になります。東京農業大学との実績として、さつまいもタルト、南高梅

を使ったアイス、黒糖・白糖づけの梅シロップなど、4〜5品以上の試作品はあがっていますが、商品化は難しい。

また6次産業化育成講座を行っており、28年度は8回講座を開きました。

問 自転車のイベント事業は継続して行うのか

答 自転車イベントは現在調査を進めており、実施したいと考えております。



総務常任委員会

当委員会に付託された議案の主な質疑

阿見町職員の給与に関する条例の一部改正

問 追加された「副参事」の内容は。

答 当町では、29年度に危機管理官の雇用を予定しております。副参事として雇用するための追加です。

阿見町行政財産使用料徴収条例の一部改正

問 阿見町役場の駐車場混雑解消のため、中学校用地の一部を利用して駐車場を拡張した。職員の駐車場使用料を500円に設定したようだが、新駐車場の整備費用は勘案しているのか。

答 職員の駐車料金は整備費を回収する意味はなく、行政財産の使用という観点で徴収します。

平成28年度阿見町一般会計補正予算

問 寄付金の内容について説明して下さい。

答 一般寄付金として10件いただいております。個人の方が7人、法人関係が2社です。そのうち法人の1社に2回寄付頂いて、合計173万5千円です。

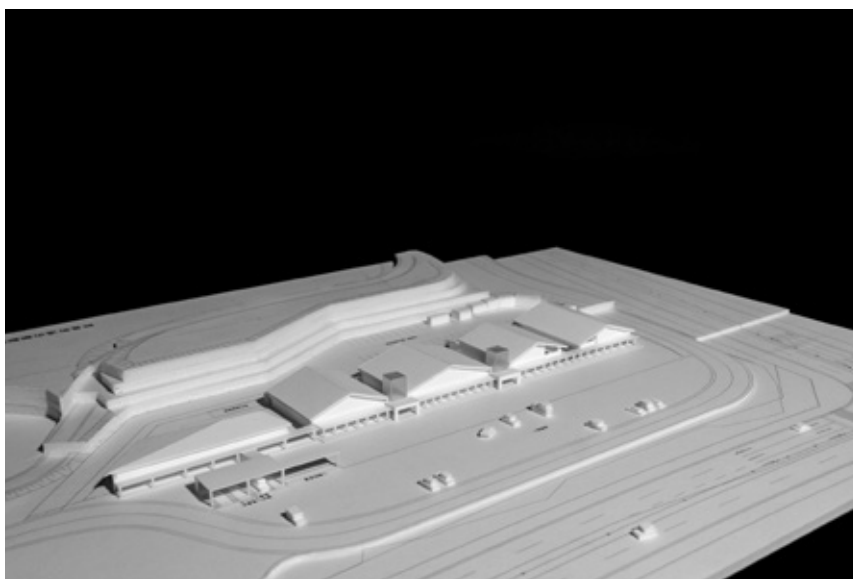
土地の取得について

問 道の駅用地は50筆となつていますが、面積は実測によるものですか、簿価によるものですか。

答 道の駅の整備と道路のつけかえの2つの事業があるなど、分筆のからみがあるところは実測でやっています。



新たに増設した駐車場



建設予定の道の駅（イメージ模型）

民生教育常任委員会

当委員会に付託された議案の主な質疑

阿見町文化芸術振興条例の制定

問 文化芸術活動を行っている団体は何団体あるのか。

答 文化協会の方で44団体、社会教育団体で、100団体あります。

問 審議会のメンバーを教えてください。

答 文化活動を実際に行っている団体の方や、公民館関係の活動をしている人、文化協会や各種の団体の方、また、公募の方も含まれています。構成は10名以内を予定しています。

阿見町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

問 日常生活支援協議委員会の内容をお願いします。

答 地域住民主体による新たな福祉サービスの創造と、地域の支え合いづくりのための体制を作っていくこと

いう事業です。生活支援コーディネーターを社会福祉協議会に配置し、その方を中核に、色々なサービスや、地域住民のニーズを探り、それに新たなサービスを町が行うという形になります。

平成28年度阿見町一般会計補正予算

問 繰越明許費の補正で、総合運動公園維持管理費540万の内容は。

答 総合運動公園、陸上競技場の夜間利用に対応するため、LED2機を新たに設置する内容です。

問 歳入ですが、収益金市町村交付金の使われ方は。

答 放課後児童育成健全事業に充当させています。

問 国庫補助金で、保健体育費補助金の中の民生安定施設整備事業補助金の内容と減額になった理由は。

答 防衛施設周辺の生活環境に関する整備の法律の中で、関係住

民の生活安定・福祉の向上に寄与するための補助金で、補助の対象額が決定したことによる減額です。

問 社会福祉協議会助成金の負担金増額の内容は。

答 社会福祉協議会の職員の人事院勧告に基づいた改訂と、時間外業務が増加したことによるものです。

問 社会教育事務費の普通旅費8万4千円の減額は。

答 社会教育指導資格を取るための講習の旅費ですが、日程が合わず受けられなかったための減額です。

問 総合運動公園維持管理費の維持補修工

事の1267万3千円の減額の理由は。

答 7つの工事のうち1つが未実施で、残り6つが契約差金になります。

問 新設小学校整備事業の減額8800万円の内容は。

答 工事については今年と来年の2カ年事業で、28年度は前払い金4割を払っています。それを予算から引いた残りがこの金額になります。

答 決算見込みとしては30億を見込んでいます。

平成28年度阿見町国民健康保険特別会計補正予算

問 一般被保険者療養給付費の29億ですが、1億の補正で30億となります。27年度も補正で30億ですが、決算で28億8000万に落ち着きました。今年もこの段階で1億補正すること、28年度の決算見込みはどのくらいになりますか。

答 決算見込みとしては30億を見込んでいます。



本郷地区の新小学校建設現場
(4月13日)

産業建設常任委員会

当委員会に付託された議案の主な質疑

平成28年度阿見町一般会計補正予算

て4万円に増額しました。

問 土木費の未登記処理事業の内容を説明してください。

答 農業振興費の新規就農者支援事業で、国からの補助金が減額になった理由を教えてください。

問 農業委員会の委員の報酬と農地利用最適化推進委員の報酬の詳細を教えてください。

答 青年就農給付金の減額は、補助金確定額の差額です。平成27年度から継続で採択された2人の給付金について、前年度の所得をもとに算定した結果、46万1千875円の減額になり、平成28年度の新規採択者1人の採択が29年1月にずれたため、満額の150万ではなく半額の75万ということになり、合計121万1千875円の減額となりました。

答 国で農地利用最適化交付金が新設され、この交付金を従来報酬に上乗せして交付できるようになりました。この交付金はこの報酬にしか充当できないものなので、今年度の報酬額に相当する額を増額として計上しました。また、農地利用最適化推進委員の報酬は、新制度ということとで暫定的に年度当初2万8千円と低い額でおさえていたため、全国的な平均額にあわせ

いう形になっています。

問 荒川本郷地区まちづくり事業の草刈委託料の減額の理由を教えてください。

答 町道の未登記が発覚した場合の、その用地取得に伴う測量業務の費用です。当初予定していた測量よりも軽微な内容で済んだため、減額しました。

答 UR（独立行政法人都市再生機構）から引き受けて町有地となった部分の草刈り業務委託料です。URから引き受けた時点にかかっていた経費をそのまま予算計上していましたが、実際に現場を確認しながら町が草刈業務とすべき設計内容を精査したところ、これだけの額が削減できたということでした。

問 土木費の県バス運行対策の算出額はどのように決めていますか。

答 茨城県と町と土浦市で負担しながら行っている事業で、関東鉄道バスが運行会社になっています。経費から運行収入を差し引いた額の半分を国、4分の1を県が負担し、残りを土浦と阿見町が距離按分で負担すると



UR から引き受けた土地

平成28年度阿見町公共下水道事業特別会計補正予算

問 公共下水道事業等法適用化業務委託料と公共下水道事業企業会計事務委託料の減額について教えてください。

答 公共下水道事業と農業集落排水事業を企業会計にする作業を行っており、当初は29年度から法適用化の予定でしたが、作業が間に合わず30年度にずれたことにより、28年度は費用がからなくなりました。

問 供用開始ということはこのからどのような整備をしますか。

答 町道の認定廃止というのは直接整備に結びつくものではありません。碎石道路でも供用していれば供用開始の扱いになります。管理については交通量などの状況をみながらやっていきたいと考えています。

町道路線の廃止

問 中央6丁目の7112号線は廃止ということですか。

答 7112号線は現在未舗装の道路ですが、実際は供用開始の扱いになっています。

ただ、認定書が未供用の認定と誤っていたため、未供用の認定を廃止して新たに供用の認定をかけるということです。

町道路線の認定

問 供用開始ということはこのからどのような整備をしますか。

答 町道の認定廃止というのは直接整備に結びつくものではありません。碎石道路でも供用していれば供用開始の扱いになります。管理については交通量などの状況をみながらやっていきたいと考えています。

請願第1号
農業者戸別所得補償制度の復活をもとめる請願は、全委員が賛成し、採択しました。

議 会 日 誌

2月

- 2日 議会運営委員会(平成29年第1回臨時会会期日程)
- 9日 平成29年第1回臨時会
- 9日 全員協議会(予算内示)
- 9日 水道事務所に設置された追尾型太陽光発電システムの調査に関する特別委員会
- 21日 町村議会議員自治研究会
- 27日 全員協議会(道の駅整備に係る土地の取得について他)
- 28日 議会運営委員会(平成29年第1回定例会会期日程)

3月

- 7日 平成29年第1回定例会第1日目(開会、上程、質疑他)
- 8日 平成29年第1回定例会第2日目(一般質問4名)
- 9日 平成29年第1回定例会第3日目(一般質問4名)
- 13日 平成29年第1回定例会予算特別委員会(議案審査)
- 14日 平成29年第1回定例会予算特別委員会(議案審査)
- 15日 平成29年第1回定例会予算特別委員会(議案審査)
- 16日 平成29年第1回定例会総務常任委員会(議案審査)
- 16日 平成29年第1回定例会民生教育常任委員会(議案審査)
- 17日 平成29年第1回定例会産業建設常任委員会(議案審査)
- 24日 全員協議会(意見書の再協議について)

3月

- 24日 水道事務所に設置された追尾型太陽光発電システムの調査に関する特別委員会
- 24日 議会運営委員会(議案第7号の訂正について)
- 28日 全員協議会(政治倫理審査会委員の委嘱について)
- 28日 平成29年第1回定例会第4日目(委員長報告、採決、閉会)
- 28日 全員協議会(道の駅指定管理予定者について他)

4月

- 6日 議会だより編集委員会(152号編集)
- 18日 議会だより編集委員会(152号編集)



町村議会議員自治研究会 (水戸市)

傍 聴 して み ま せ ん か !

次回定例会開会予定は

6月6日(火) となります。

町議会は、傍聴できます。
第1回定例会(3月)の傍聴者は、延べ27名でした。
傍聴席にモニターが設置されました。
また、役場1階ロビーでも本会議の実況をテレビでご覧になることができます。

手続きは簡単です!

議会の傍聴を希望される方は、会議の当日に役場3階議会事務局で受付けています。

- ①傍聴券の交付を受けてください。
- ②傍聴券は先着順にお渡しします。
- ③傍聴席は、本会議 30席
常任委員会 9席



編集後記

今日のこの編集後記を書いているのは4月7日、そしてこの議会だよりの発行は5月12日。昨日は第1回の編集委員会、発行までには数回の編集委員会がありました。3月議会が28日に終わりましたが発行までには日数がかかりました。今日は各小学校の入学式がありました。私は本郷小学校で議会を代表して祝辞をのべました。あいにくの小雨でしたが本郷小学校の校庭の桜は満開で入学式にふさわしい風景でした。
3月議会は主に29年度の予算の審議でしたが、すべて可決しました。阿見町は、来年の新小学校の開設、再来年は国体の開催、3年後は道の駅の開設と大きな事業を抱えています。
阿見町の将来は明るいと結んで編集後記といたします。
柴原成一

委員	委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
井田	高野	永井	川畑	柴原	倉持	樋口	難波千香子
真一	好央	義一	秀慈	成一	松雄	達哉	